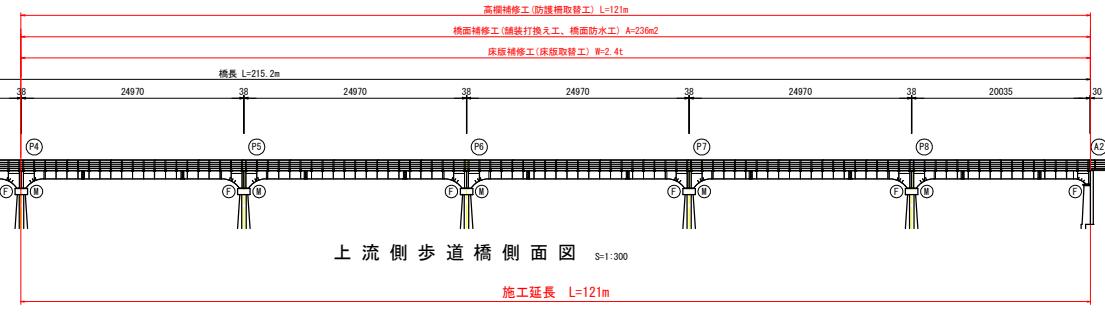
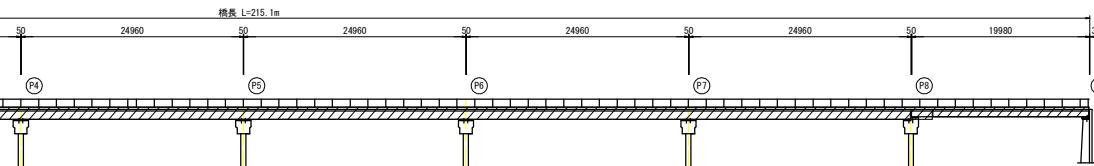


橋梁補修計画一般図

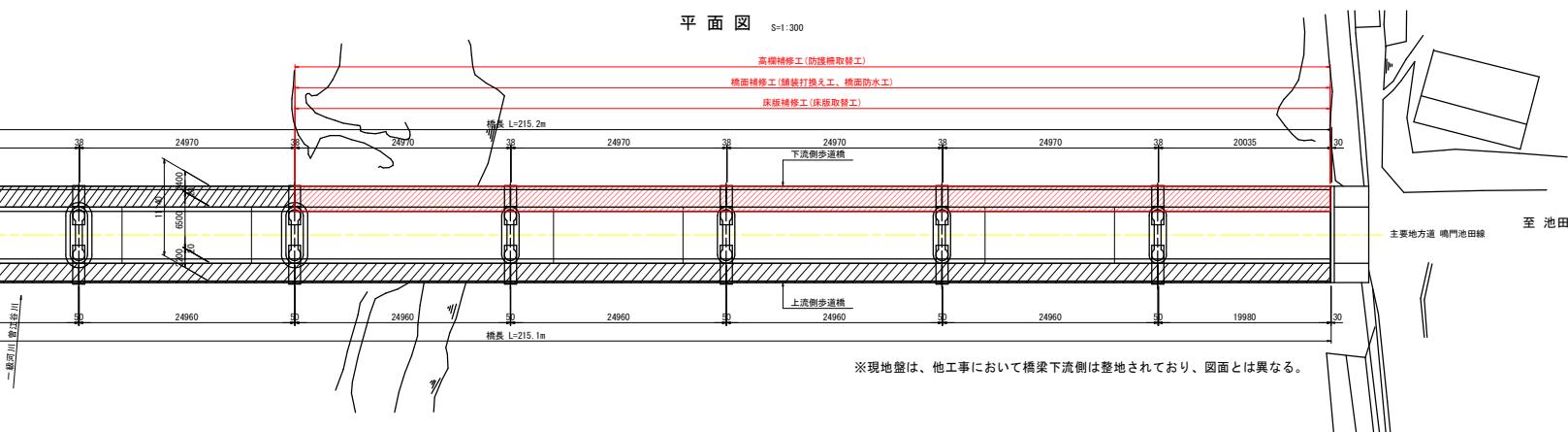
下流側歩道橋側面図 S=1:300



上流側歩道橋側面図 S=1:300

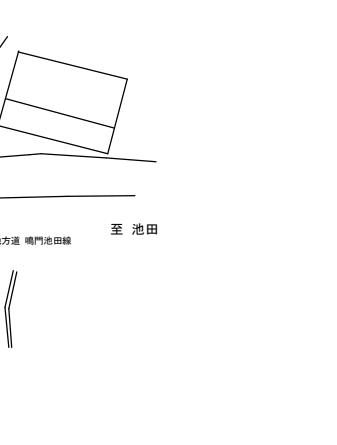


平面図 S=1:300



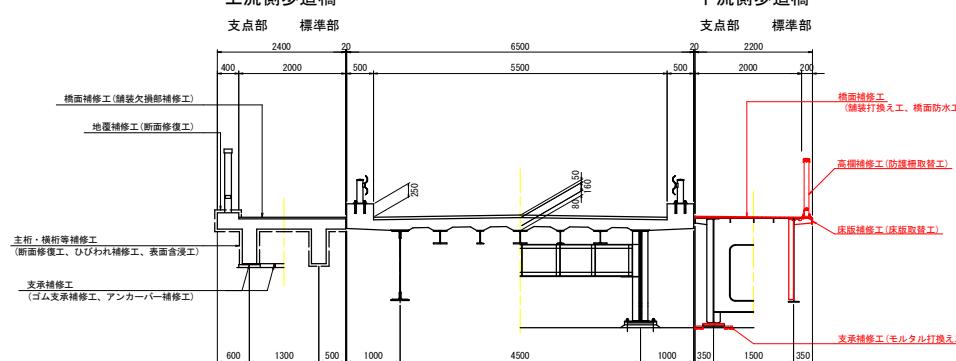
構造諸元	
橋名	曾江谷橋
路線名	主要地方道 喜門池田線
下流側歩道橋	
橋梁形式	9径間鋼床版鋼析上路橋
上部工	逆T構台
下部工	橋台: 直接基礎、橋脚: 混凝土ブロック
基礎工	215.200 m
支間割	20.00, 6.05m+7.024.570m
有効幅員	2.00 m
施工年月	1978年(昭和53年)3月
示方書	道路橋示方書(昭和47年3月)
荷重	群衆荷重

構造諸元	
橋名	曾江谷橋
路線名	主要地方道 喜門池田線
上流側歩道橋	
橋梁形式	9径間鋼T析橋
上部工	不明
下部工	橋台: 不明、橋脚: ラーメン式橋脚
基礎工	不明
橋長	215.100 m
支間割	20.00, 5.56m+7.024.56m
有効幅員	2.00 m
施工年月	昭和52年度
示方書	不明
荷重	不明



上流側歩道橋

断面図 S=1:50



下流側歩道橋

断面図 S=1:50

下流側歩道橋補修工法一覧

補修工法一覧		
部位・部材	劣化状況	補修工法
床版	腐食(孔食)・防護機能の劣化	床版取替工(腐食部)
橋面	路面の凹凸等	舗装打替工、橋面防水工
防護柵	腐食(金網部)	防護柵補修工
支承	答座モルタル剥離	モルタル補修工
		答座モルタル打設

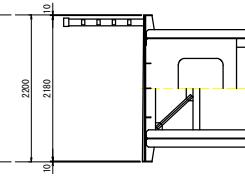
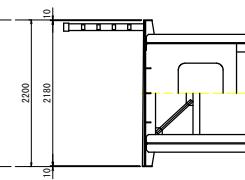
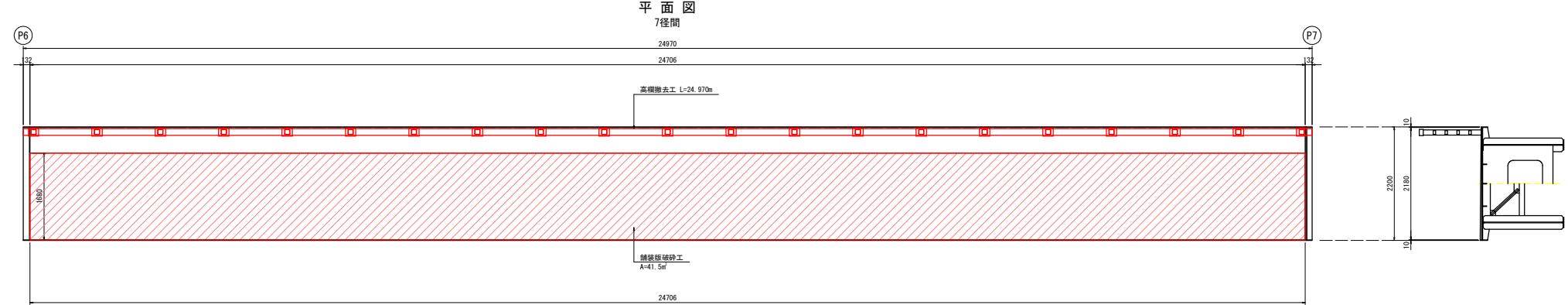
上流側歩道橋補修工法一覧

補修工法一覧		
部位・部材	劣化状況	補修工法
主桁・横桁等	ひびわれ	ひびわれ補修工
	うき、剥離、鉄筋露出	断面修復工
橋面	中性化	表面保護工
	路面の凹凸	欠陥部補修工
支承	ゴム剥離	ゴム支承補修工
	アンカーバー腐食	アンカーバー補修工

実施設計図面

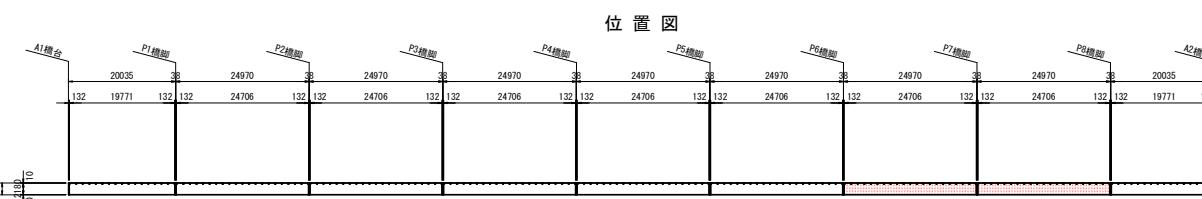
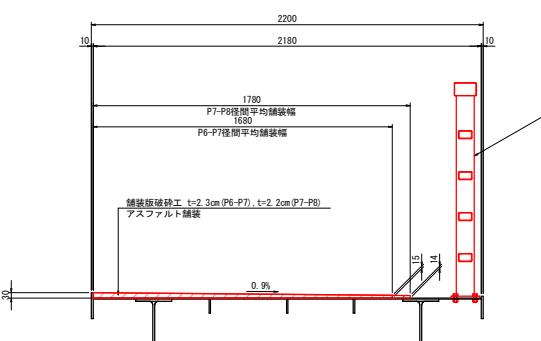
工事名	片7馬主 喜門池田線(曾江谷橋)	
路線名等	(主) 喜門池田線(曾江谷橋)	
工事箇所	美馬市脇田町 拝原	
図面名	橋梁補修計画一般図	
縮尺	図示	図面番号 1 / 21
会社名	徳島県西部総合県民局(美馬)	
事業者名		

下流側側道橋 床版・橋面工撤去図 (2/7) S=1:40
橋面工撤去図



補修の種類	表示
舗装版破砕工	<input checked="" type="checkbox"/>

断面図 S=1:15



実施設計図面

工事名	R7馬王・鳴門池田線（曾江谷橋） 奥・船持原 橋梁修理工事		
路線名等	(主) 鳴門池田線（曾江谷橋）		
工事箇所	美馬市船持原 拝原		
図面名	下流側側道橋 床版・橋面工撤去図 (2/7)		
縮尺	図示 図面番号 3 / 21		
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局（美馬）		

注) 1. 現地計測時に舗装を開削し、舗装厚の確認を行うこと。開削位置および数量は監督員と協議により決定すること。
2. 施工時は鋼床版を損傷させず施工を実施すること。

下流側側道橋 床版・橋面工撤去図 (3/7)

橋面工撤去図

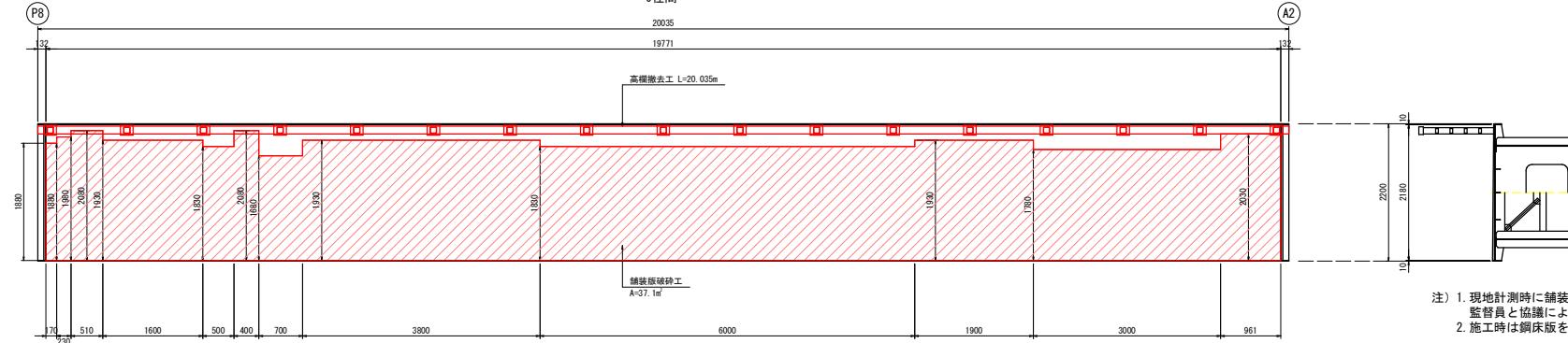
S=1:40

平面図

9径間

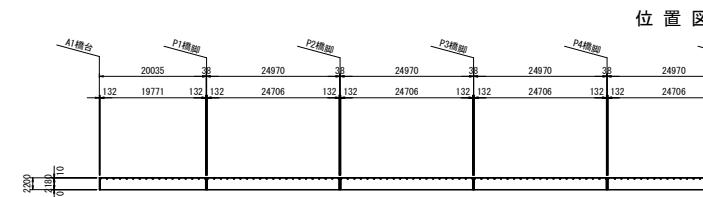
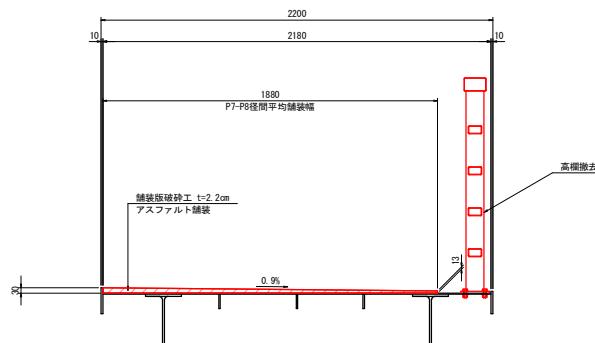
20035

19771



- 注) 1. 現地計測時に舗装を開削し、舗装厚の確認を行うこと。開削位置および数量は監督員と協議により決定すること。
2. 施工時は鋼床版を損傷させず施工を実施すること。

断面図 S=1:15



実施設計図面

工事名	R7馬士・鳴門池田線(曾江谷橋)		
路線名等	(主) 鳴門池田線(曾江谷橋)		
工事箇所	美馬市脇町浜原		
図面名	下流側側道橋 床版・橋面工撤去図(3/7)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 21
会社名	徳島県西部総合県民局(美馬)		

下流側側道橋 床版・橋面工撤去図 (5/7)

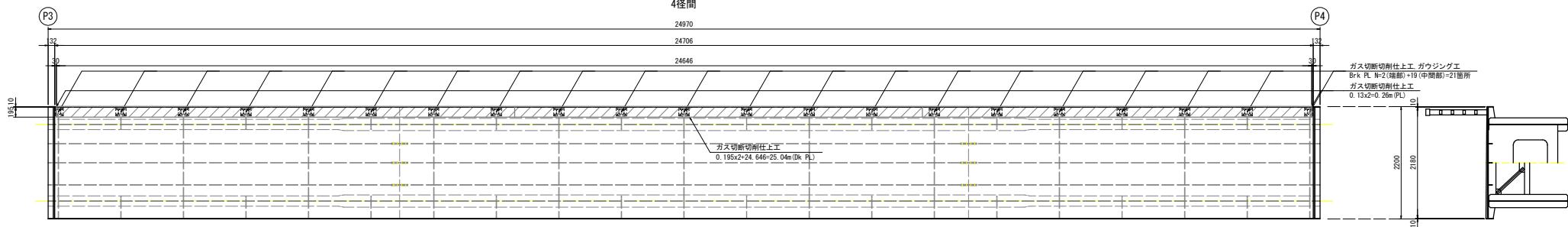
床版工撤去図

S=1:40

- 注1) 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。
 2. 残存PLにガス切断での熱影響を加えないため、10mm残してガス切断し、残りをグラインダー等で母材表面まで切削する。
 3. Brk PLは新規部材取付時の支保工用として、一部残した計画をしている。不要の場合は、撤去しても良い。
 4. 下流側舗装止めPLは、鋼床版より上方10mm部は切断削を実施し、鋼床版天端と高さを合わせること。

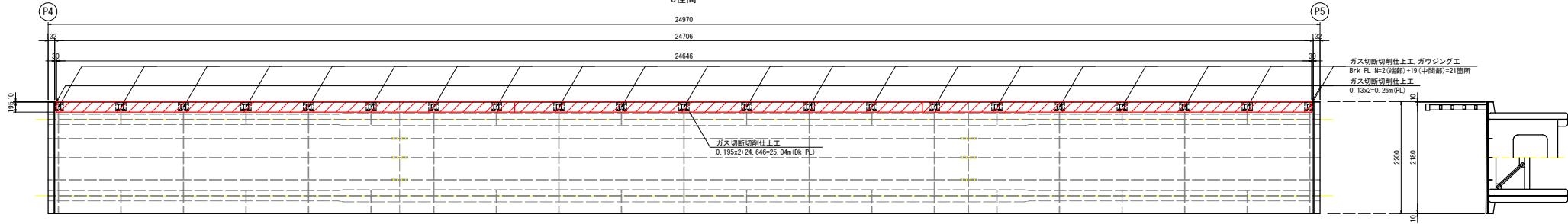
平面図

4径間



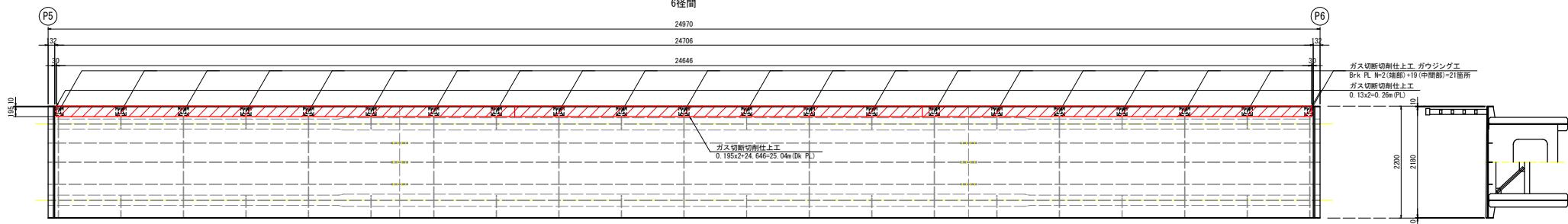
平面図

5径間

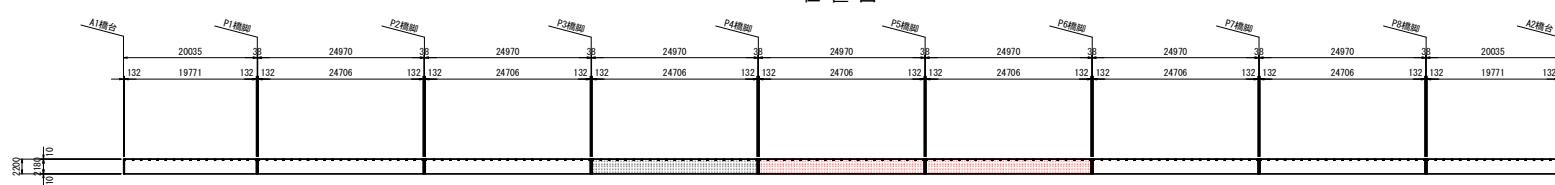


平面図

6径間



実施設計図面



工事名	F7 馬王・鳴門池田線（曾江谷橋）		
路線名等	(主) 鳴門池田線（曾江谷橋）		
工事箇所	美馬市協町拝原		
図面名	下流側側道床版・橋面工撤去図(5/7)		
縮尺	図示		
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局（美馬）		

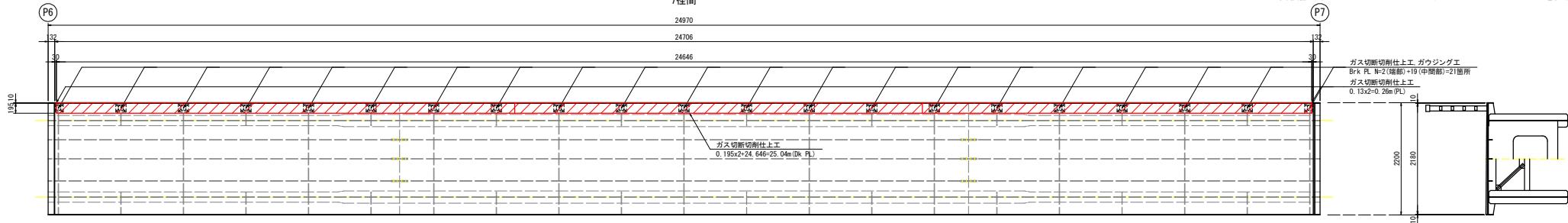
下流側側道橋 床版・橋面工撤去図 (6/7)

S=1:4

- 注)1. 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。
2. 残存PLにガス切断での熱影響を加えないため、10mm残してガス切断し、残りをグライダー等で母材表面まで切削する。
3. Brk PLは新規部材取付時の支承作用として、一部残した計画画としている。不要の場合は、撤去しても良い。
4. 下流側調整止めPLは、鋼床版により上方10mm部は切断切削を実施し、鋼床版端部と高さを合わせること。
5. 高欄撤去後のボルト孔については、ボルトによる塞孔処理を実施すること。

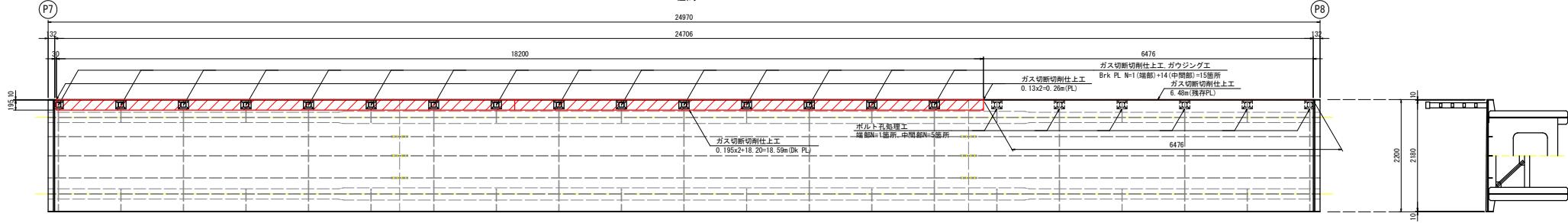
平面圖

7径間



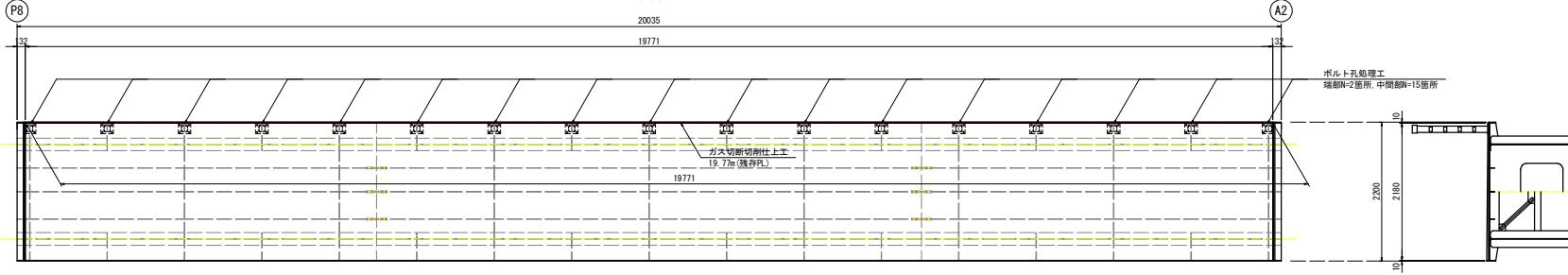
平面圖

8径間

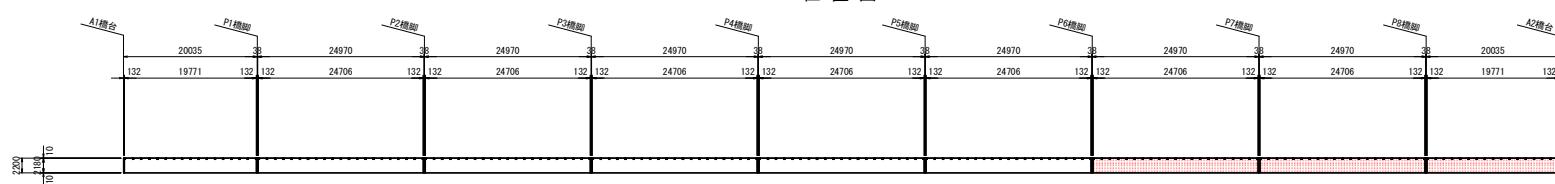


平面図

9径



位置圖



実施設計図面

工事名	R7馬士 喰門池田線(曾江橋築)
路線名等	(3) 喰門池田線(曾江橋築)
工事箇所	美馬市臨町 拝原
図面名	下流側倒道橋 基板・横面工撤去図(6.7)
縮尺	図示
会社名	
事業者名	徳島県西部組合県民局(美馬)

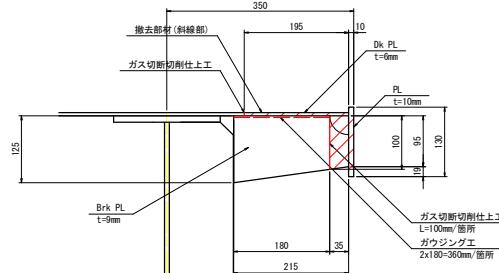
下流側側道橋 床版・橋面工撤去図 (7/7)

S=1 :

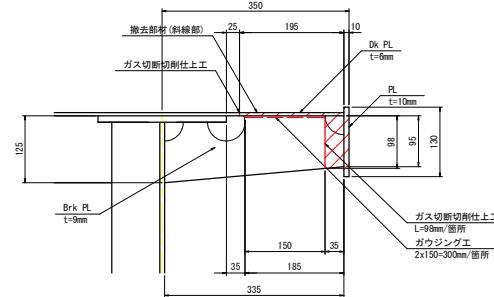
床版工撤去図

撤去部詳細図 S=1:5

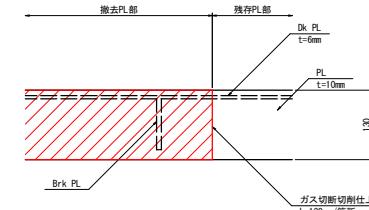
断面図 端部ブラケット N=11箇所



断面図 中間部プラケット N=114箇所

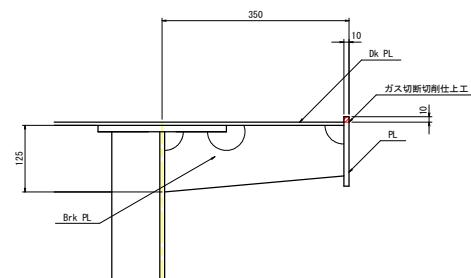


側面図



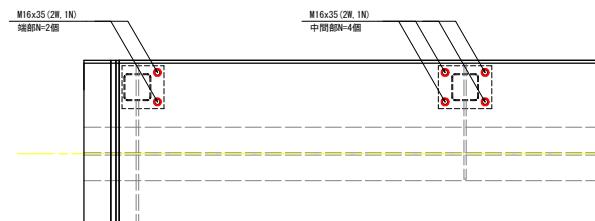
残存部詳細図 S=1:5

断面図 中間部プラケット

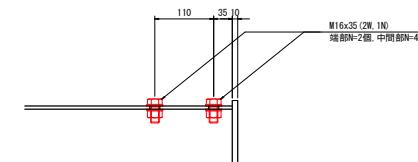


既設ボルト孔処理

平面図 S=1:10



断面図 S=1:5



ボルト孔修理工数量集計

序号	名称	数量(本)	备注
A1	P1-径向	- 本	
P1	P1-P2径向	- 本	
P2	P2-P3径向	- 本	
P3	P3-P4径向	- 本	
P4	P4-P5径向	- 本	
P5	P5-P6径向	- 本	
P6	P6-P7径向	- 本	
P7	P7-P8径向	22 本	
P8	A2径向	64 本	
合计		256 本	

審核設計圖面

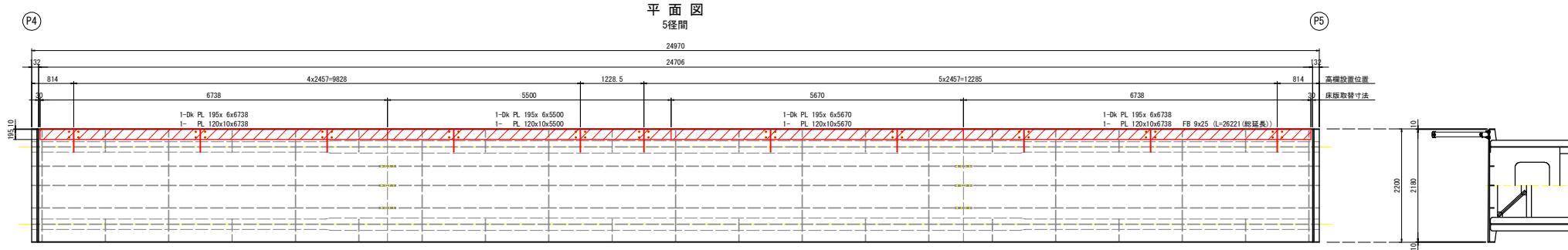
工事名	R7馬鹿嶋門池田線(曾江谷橋) 美濃橋架設 橋梁修繕工事		
路線名等	(3) 鳴門池田線(曾江谷橋)		
工事箇所	美濃市駒町洋原		
図面名	下流側倒壊床版・横面工撤去図(1/7)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 21
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局(美馬)		

下流側側道橋床版工補修詳細図 (1/9)

S=1:4

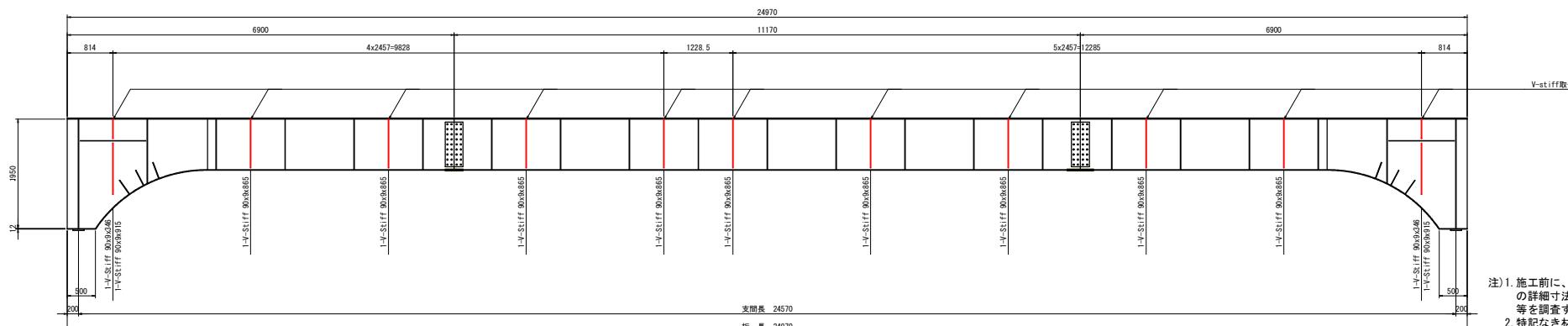
床版取替工詳細図

P4



側面図

内 面



注)1. 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。

2. 特記なき材質はSM400Aを示す。

3. スカラップは35Rとする。

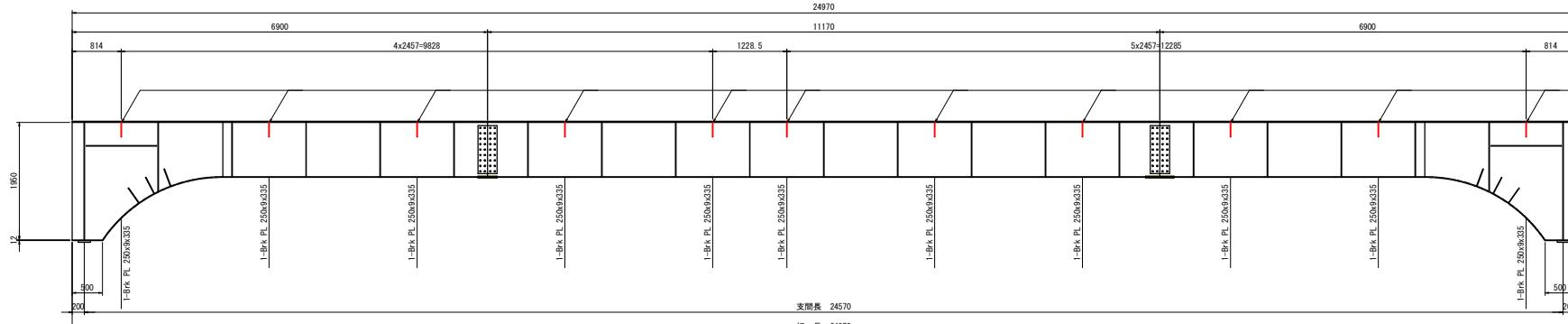
4. 既設部材と補強部材の接合箇所は、既設部材の塗膜及びさびを除去する。

素地調整の範囲は別途図面参照。
本橋周辺には商業施設および民家が近接しているため、第三者によって粉塵飛散、騒音に対する苦情が生じるなど、工事上の制約によって、素地調整程度1種（プラスト工）が不可能な場合には協議を行う。

Brk B取付

側面圖

外 面



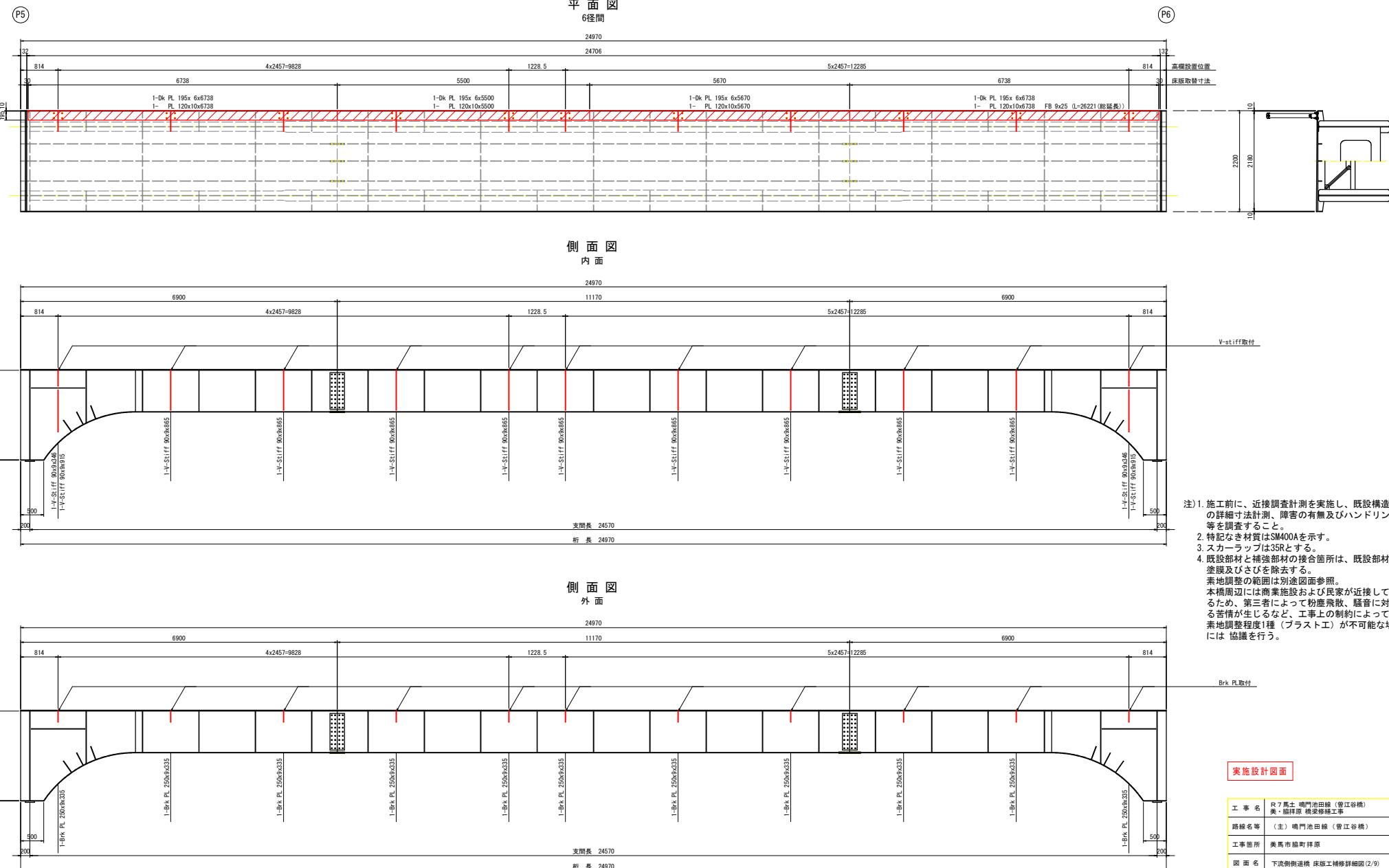
実施設計図面

工事名	R7馬士 喙門田浦線（曾江谷橋） 美・詔伴川 桃葉修補工事		
路線名等	（主）門田浦線（曾江谷橋）		
工事箇所	美馬市詔町拌原		
図面名	下流側倒損床工床修補詳細図(1/9)		
縮尺	1:40	図面番号	9 / 21
会社名			
事業者名	徳島西部綜合農業局(美馬)		

下流側側道橋 床版工補修詳細図 (2/9)

床版取替工詳細図

S=1:40



注) 1. 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。

2. 特記なき材質はS400Aを示す。

3. スカラップは35Rとする。

4. 既設部材と補強部材の接合箇所は、既設部材の塗膜及びさびを除去する。

素地調整の範囲は別途図面参照。

本橋周辺には商業施設および民家が近接しているため、第三者によって粉塵飛散、騒音に対する苦情が生じるなど、工事上の制約によって、

素地調整程度1種(プラスチック)が不可能な場合には協議を行う。

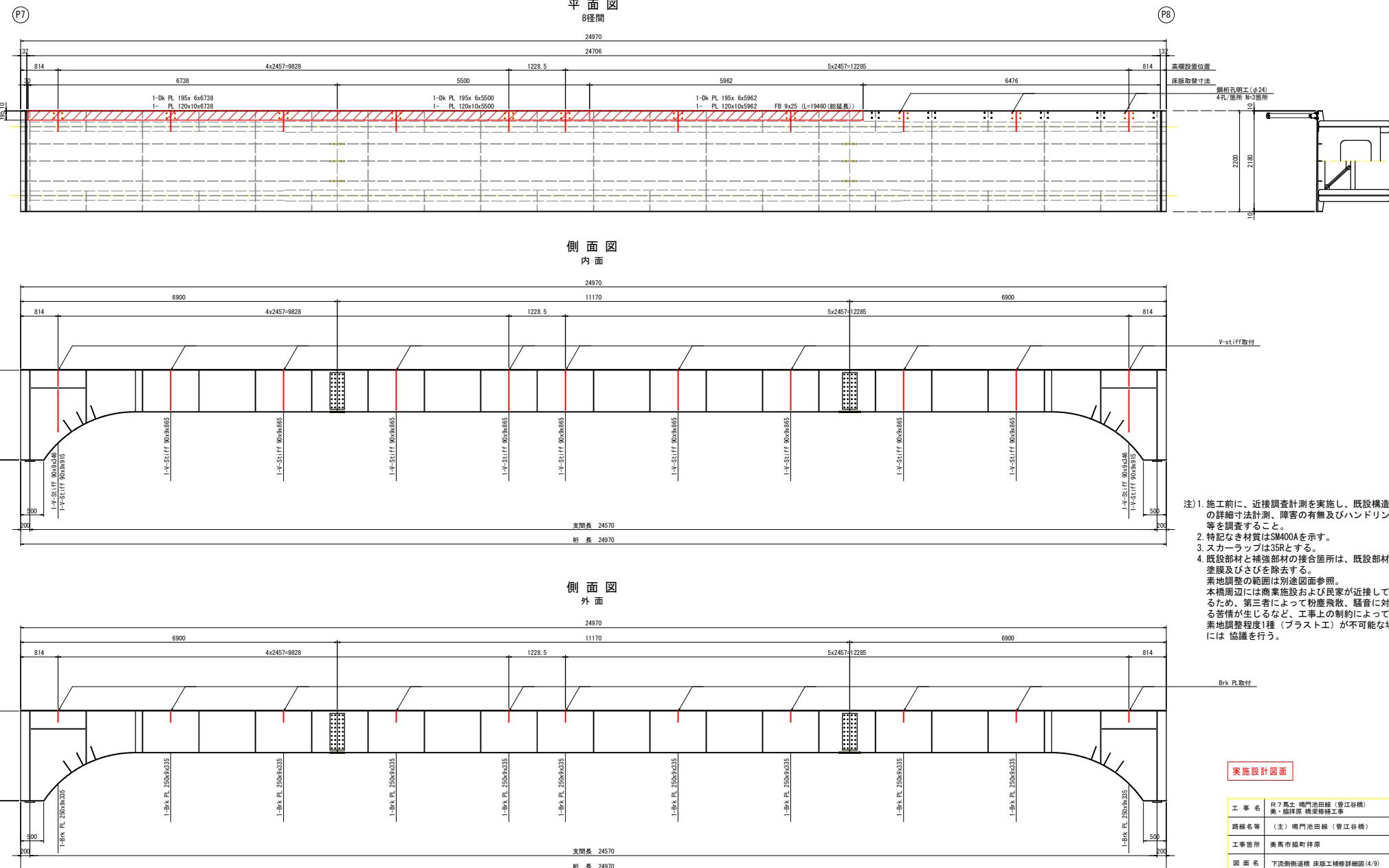
実施設計図面

工事名	R7馬主・鳴門池田線(曾江谷橋)	
路線名等	(主) 鳴門池田線(曾江谷橋)	
工事箇所	美馬市脇町拝原	
図面名	下流側側道橋 床版工補修詳細図(2/9)	
縮尺	1:40	図面番号 10 / 21
会社名	徳島県西部総合県民局(美馬)	
事業者名		

下流側側道橋 床版工補修詳細図 (4/9)

床版取替工詳細図

S=1:40



注) 1. 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。

2. 特記なき材質はS400Aを示す。

3. スカラップは3SRとする。

4. 既設部材と補強部材の接合箇所は、既設部材の塗膜及びさびを除去する。

素地調整の範囲は別途図面参照。

本橋周辺には商業施設および民家が近接しているため、第三者によって粉塵飛散、騒音に対する苦情が生じるなど、工事上の制約によって、素地調整程度1種(プラスチック)が不可能な場合には協議を行う。

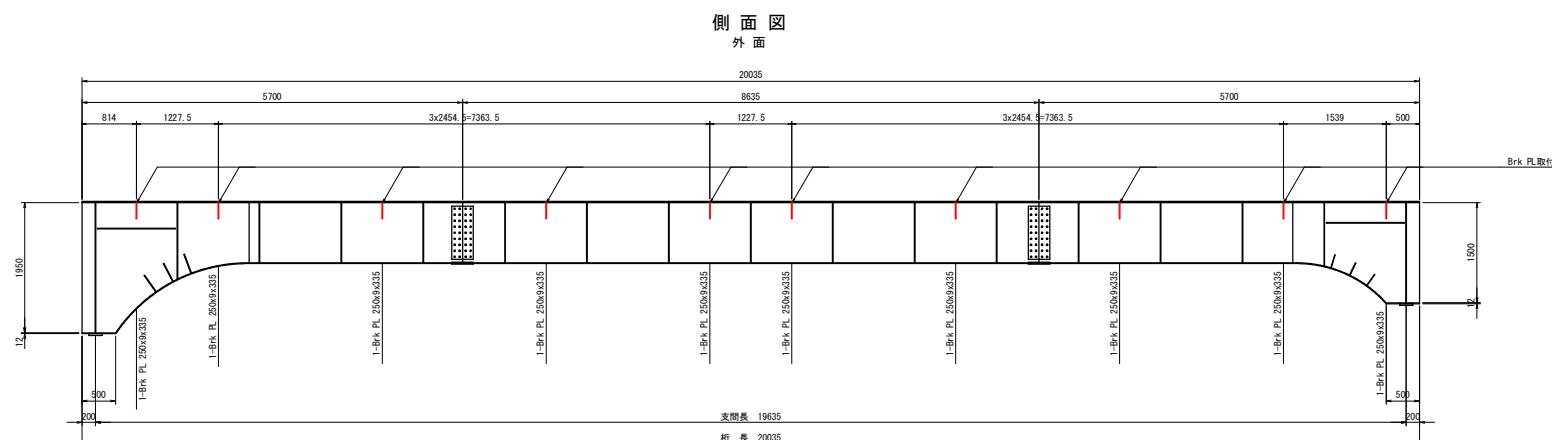
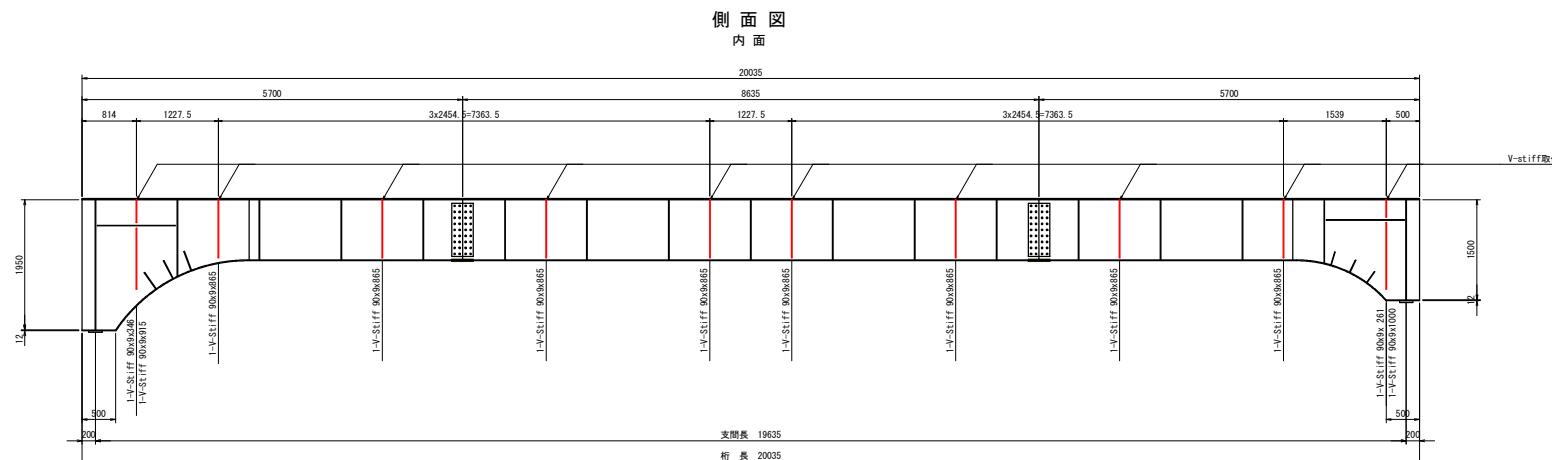
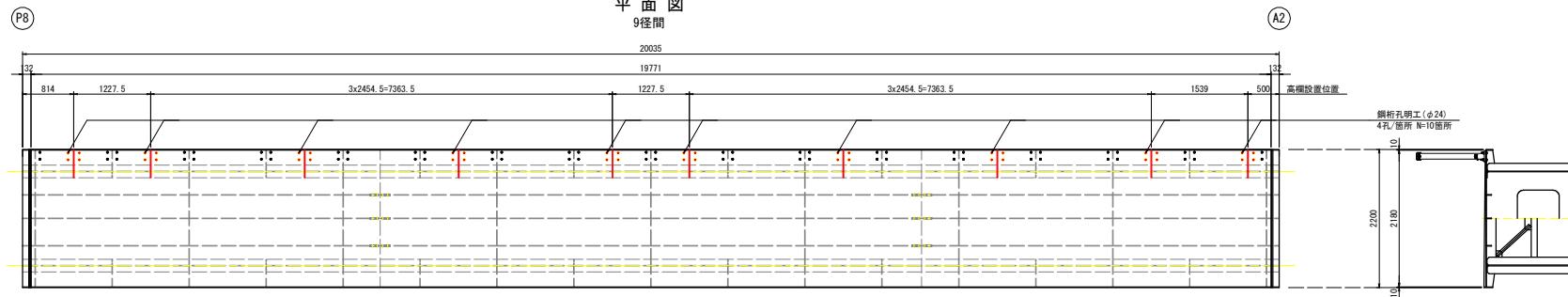
実施設計図面

工事名	R7工事 品門池田線(晉江谷橋)	
路線名等	(主) 品門池田線(晉江谷橋)	
工事箇所	美馬市脇町拝原	
図面名	下流側側道橋 床版工補修詳細図(4/9)	
縮尺	1:40	図面番号 12 / 21
会社名	徳島県西部総合県民局(美馬)	
事業者名		

下流側側道橋 床版工補修詳細図 (5/9)

S=1:40

床版取替工詳細図



- 注) 1. 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。
 2. 特記なき材質はSM400Aを示す。
 3. スカラップは35Rとする。
 4. 既設部材と補強部材の接合箇所は、既設部材の塗膜及びさびを除去する。
 素地調整の範囲は別途図面参照。
 本橋周辺には商業施設および民家が近接しているため、第三者によって粉塵飛散、騒音に対する苦情が生じるなど、工事上の制約によって、素地調整程度1種（プラスチ工）が不可能な場合には協議を行う。

実施設計図面

工事名	R7馬主・鳴門池田線（曾江谷橋） 奥・船井原 橋梁修理工事	
路線名等	(主) 鳴門池田線（曾江谷橋）	
工事箇所	美馬市船井原	
図面名	下流側側道橋 床版工補修詳細図(5/9)	
縮尺	1:40	図面番号 13 / 21
会社名	徳島県西部総合県民局（美馬）	
事業者名		

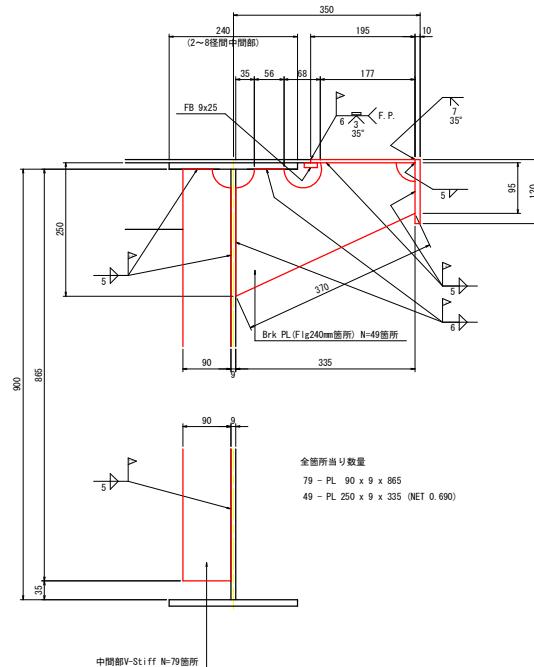
下流側側道橋床版工補修詳細図 (6/9)

床版取替工詳細図

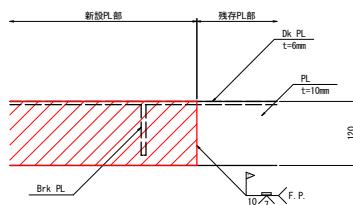
高欄補強部材詳細図 S-1:

断面図

Fig幅240mm音隙



側面図



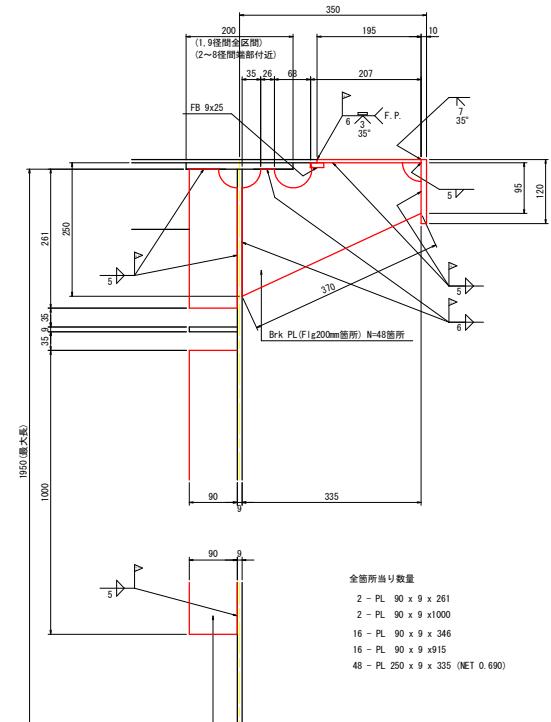
既設部材・塗装接査規 (Ro-塗装系) (スプレー)	規 格	使用量 (g/m ²)	塗装時間
素地調整			
防食下地	有機ジンクリングペイント	600	4時間以上
下塗り	聚氨酯溶剤性・エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
下塗り	聚氨酯溶剤性・エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
中塗り	聚氨酯溶剤性・エポキシ樹脂塗料用中塗	170	1~10日
上塗り	聚氨酯溶剤性・エポキシ樹脂塗料上塗	140	1~10日



※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更できる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラット形式による吟味度合 ISO 9601-1, S₀ 2 1/2 とする。

断面圖

Fig 200mm部



金箇所当り

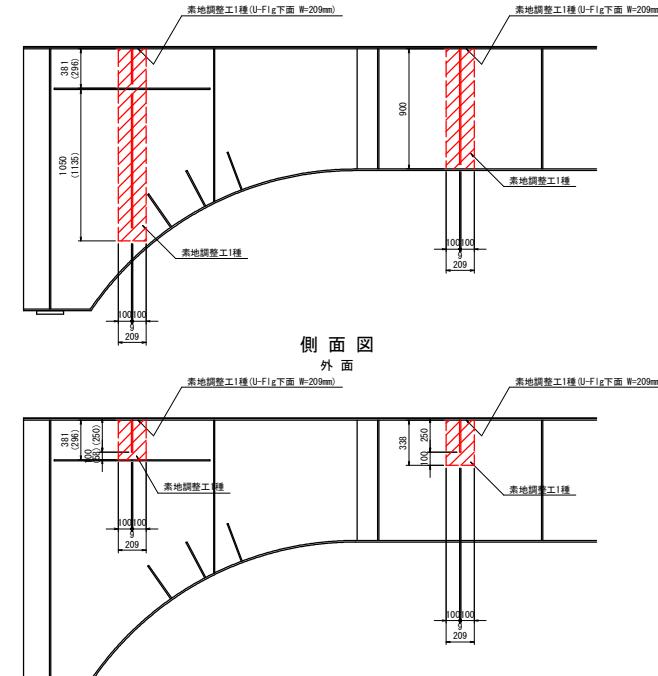
主回所当り数量
2 - PL 90 x 9 x 261
2 - PL 90 x 9 x1000
16 - PL 90 x 9 x 346
16 - PL 90 x 9 x915
48 - PL 250 x 9 x 335 (NET 0.69)

素地調整工詳細図 S=11

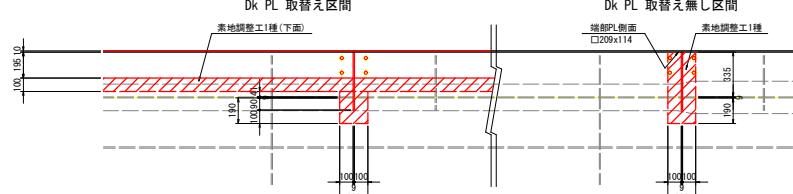
※ (寸法) は、A2橋台部の桁端部の寸法を示す。

側面

内面



平 重



審核設計圖面

- 注1) 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びパンドリング等を調査すること。
2) 特記なき材料はSM400を示す。
3) スカラーピンは35Rとする。
4) 既設部材と補強部材の接合箇所は、既設部材の塗膜及びさびを除去する。素地調査範囲は圓面図参照。
本橋周辺には商業施設および民家が近接しているため、第三者によって粉塵飛散、騒音に対する苦情が生じるなど、工事への制約によって、素地調整程度度目（「プラスト工」）が不可能な場合には協議を行う。
5) 新規部材に5塗装系、現場溶接箇所は、発注者の承諾を得て、変更すること。
6) 塗装色は既設塗装と同色とする。
7) 塗装箇所は、素地調整工、新規取付部材および橋面DK PL上面(被塗装箇所)の範囲とする。
8) 型鋼溶接接合の寸法は、「ギザギザ(ダーティーパック)」を参考に決定する。
9) 施工前半は、

工事名	R7馬士 喰門地田線(曾吉谷橋) 奥・關原 陸橋修繕工事		
路線名等	(主) 喰門池田線(曾吉谷橋)		
工事箇所	美馬市藍町拝原		
図面名	下流側倒退橋 床工床修補詳細図(6/9)		
縮尺	図示	図面番号	14 / 21
会社名			
事業者名	徳島東西部総合県民局(美馬)		

下流側側道橋 床版工補修詳細図 (7/9)

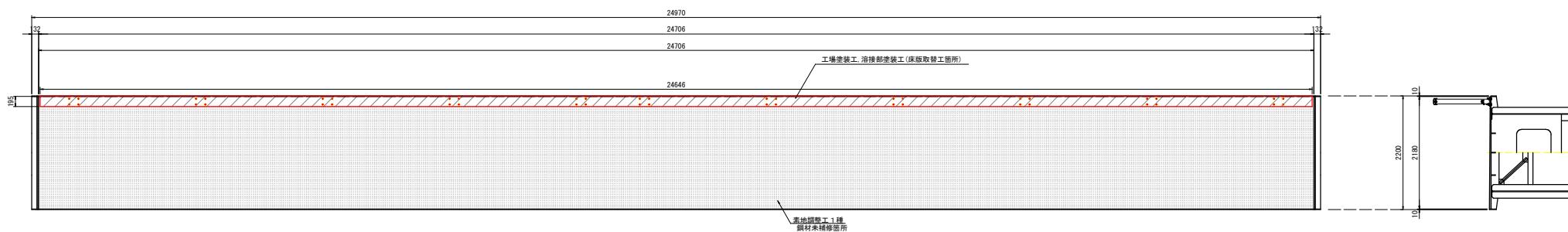
床版上面補修工詳細図

S=1:40

- 注)1. 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。
 2. 端部よりW=200mmの範囲及び、床版取替部について、現場塗装(一部工場)を実施する。
 3. 床版上面(既設床版箇所)に、素地調整工1種を実施する。
 本橋周辺には商業施設および民家が近接しているため、第三者によって粉塵飛散、騒音に対する苦情が生じるなど、工事上の制約によって、素地調整程度1種(プラスチ工)が不可能な場合には協議を行う。

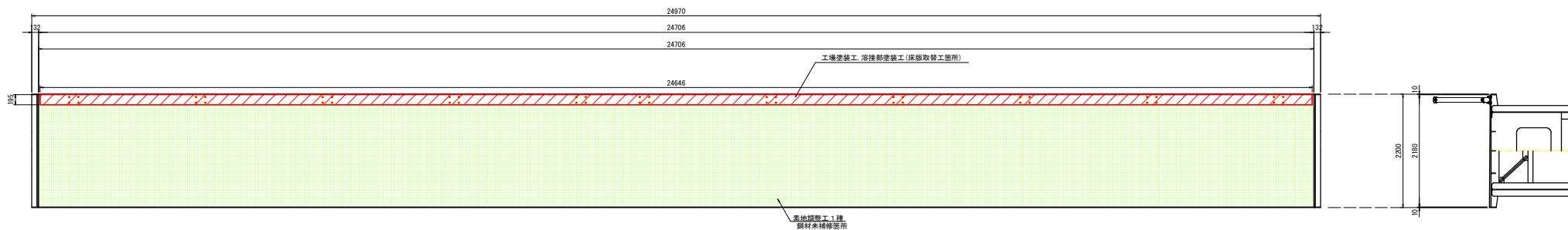
(P3)

平面図 4径間



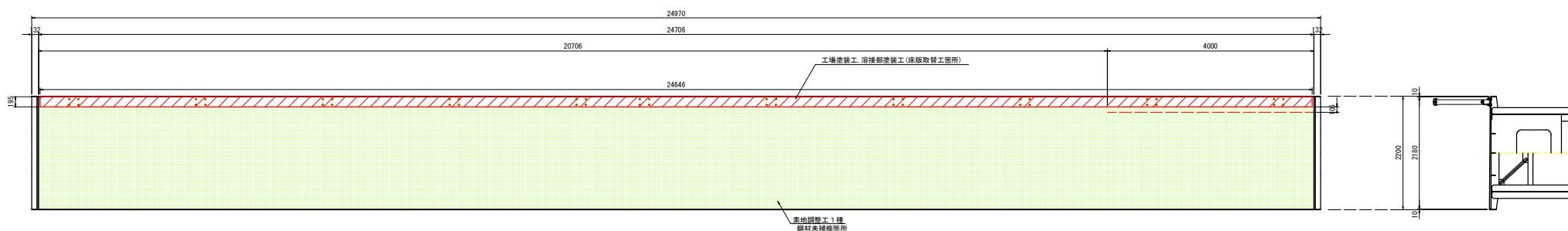
(P4)

平面図 5径間



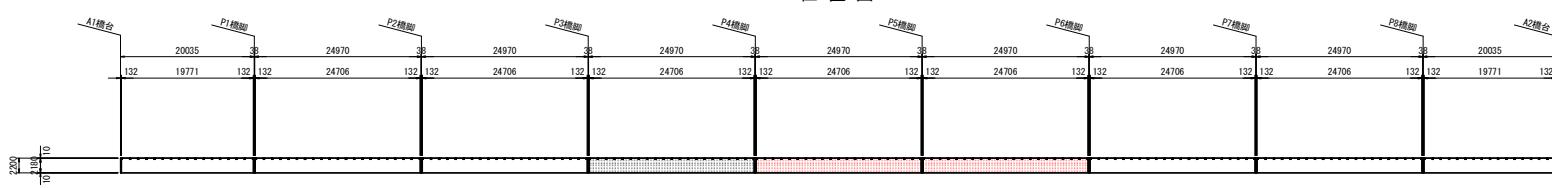
(P5)

平面図 6径間



(P6)

位置図



実施設計図面

工事名	R7馬王・鳴門池田線(曾江谷橋)		
路線名等	(主) 鳴門池田線(曾江谷橋)		
工事箇所	美馬市脇町拌原		
図面名	下流側側道橋 床版工補修詳細図(7/9)		
縮尺	1:40 図面番号 15 / 21		
会社名	徳島県西部総合県民局(美馬)		
事業者名			

下流側側道橋 床版工補修詳細図 (8/9)

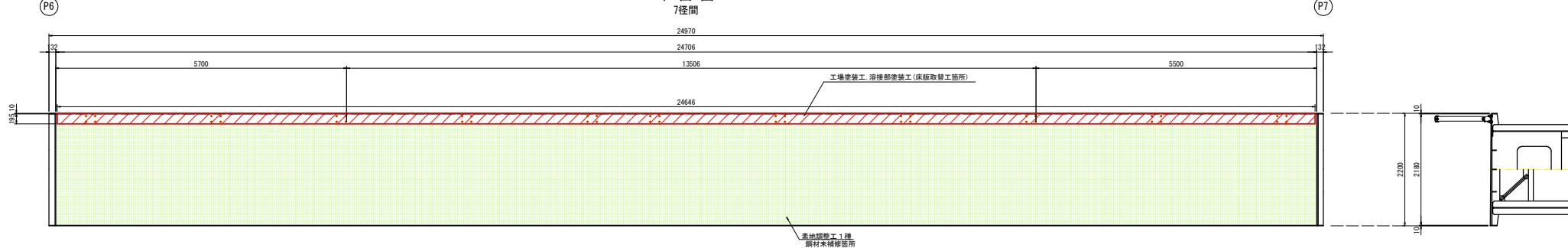
床版上面補修工詳細図

S=1:40

- 注1). 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。
 2. 端部よりW=200mmの範囲及び、床版取替工部については、現場塗装(一部工場)を実施する。
 3. 床版上面(既設床版箇所)に、素地調整工1種を実施する。
 本橋周辺には商業施設および民家が近接しているため、第三者によって粉塵飛散、騒音に対する苦情が生じるなど、工事上の制約によって、素地調整程度1種(プラスチ工)が不可能な場合には協議を行う。

平面図

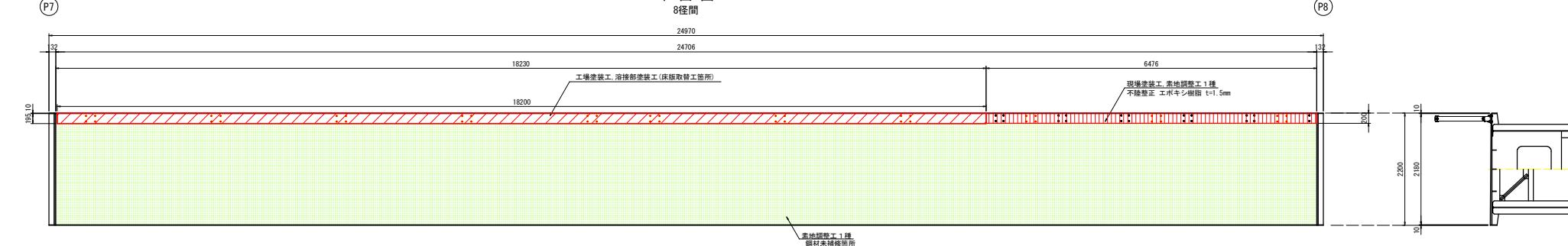
7径間



(P7)

平面図

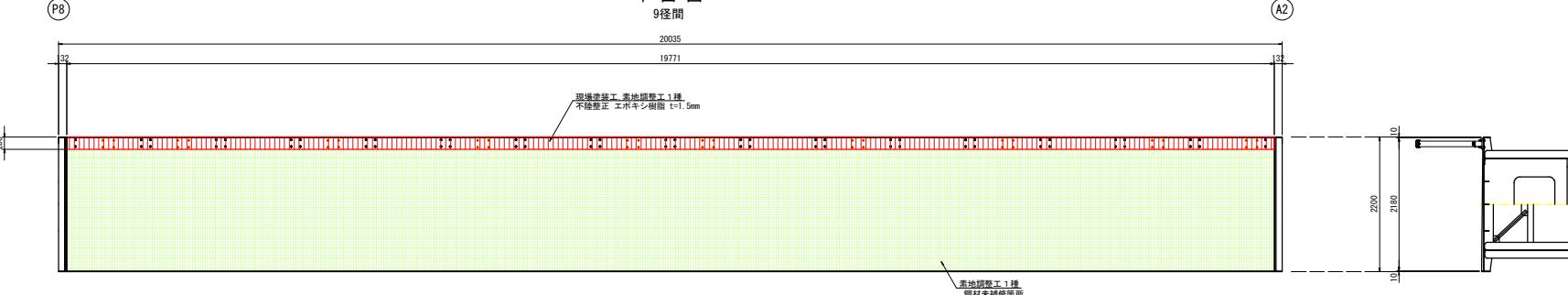
8径間



(P8)

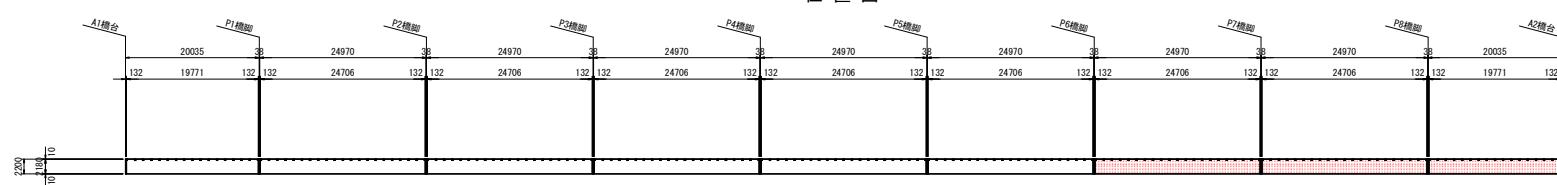
平面図

9径間



(A2)

位置図



実施設計図面

工事名	P7 馬王 品門池田線(曾江谷橋)	
路線名等	(主) 品門池田線(曾江谷橋)	
工事箇所	美馬市脇町拌原	
図面名	下流側側道橋 床版工補修詳細図(8/9)	
縮尺	1:40 図面番号 16 / 21	
会社名	徳島県西部総合県民局(美馬)	
事業者名		

下流側側道橋床版工補修詳細図 (9/9) S=1:20

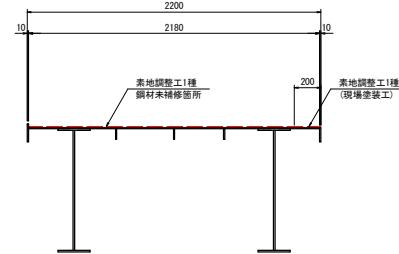
床版上面補修工詳細図

床版上面補修工詳細図 S=1:20

素地調整工詳細図

断面図

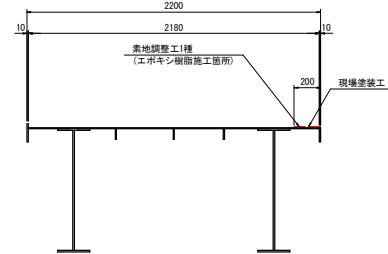
床版取替工未実施箇所



塗装及び補修工詳細図

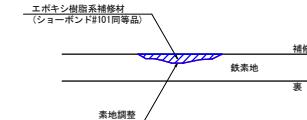
断面図

床版取替工未実施箇所



板厚減少部補修図

エポキシ樹脂補修図 S=NTS



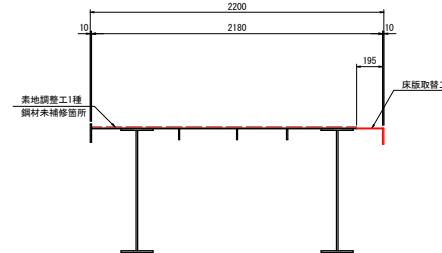
板厚減少補修

A = 5.249 m² (設計数量) W = 13.385 kg (設計数量)

注記
1) 減少部の補修厚みは素地の厚み以上とする。
2) 施工は、塗装え塗装の素地調整後に施工を実施する。

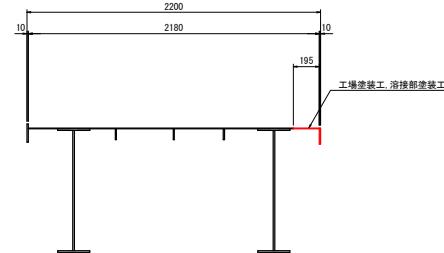
断面図

床版取替工実施箇所



断面図

床版取替工実施箇所



既設部材 塗装規格表 (Rc-塗装系) (スプレー)			
名 称	規 格	使 用 量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	動力工具処理	600	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッヂペイント	600	1~10日
下塗り	溶剤形弹性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
下塗り	溶剤形弹性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1~10日
中塗り	溶剤形弹性エポキシ樹脂塗料用中塗	170	1~10日
上塗り	溶剤形弹性エポキシ樹脂塗料上塗	140	1~10日

新規部材 塗装規格表 (スプレー)			
塗装工程	規 格	使 用 量 (g/m ²)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整 プライマー 2次素地調整	プラスチック処理 ISO 8501-1 Sa 2 1/2 (160)	4時間以内 6ヶ月以内
塗装製作工場	防食下地	無機ジンクリッヂペイント	600
			4時間以内

既設部材 塗装施工フロー



※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者のご協議の上で、はけ、ローラーに変更できる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラスト処理による除鋼度は ISO 8501-1 Sa 2 1/2 とする。

- 施工前に、近接調査計測を実施し、既設構造物の詳細寸法計測、障害の有無及びハンドリング等を調査すること。
- 端部よりW=200mmの範囲及び、床版取替工部については、現場塗装(一部工場)を実施する。
- 床版上面(既設床版箇所)に、素地調整工1種を実施する。
- 本橋周辺には商業施設および民家が近接しているため、第三者によって粉塵飛散、騒音に対する苦情が生じるなど、工事上の制約によって、素地調整程度1種(プラスチック)が不可能な場合には協議を行う。

参考図面

新規部材 塗装施工フロー (スプレー)			
塗装工程	規 格	使 用 量 (g/m ²)	塗装間隔
現場	素地調整 防食下地 下塗り 下塗り 中塗り 上塗り	動力工具処理 ISO 8501-1 Sa 2 1/2 600 240 240 170 140	4時間以内 1~10日 1~10日 1~10日 1~10日

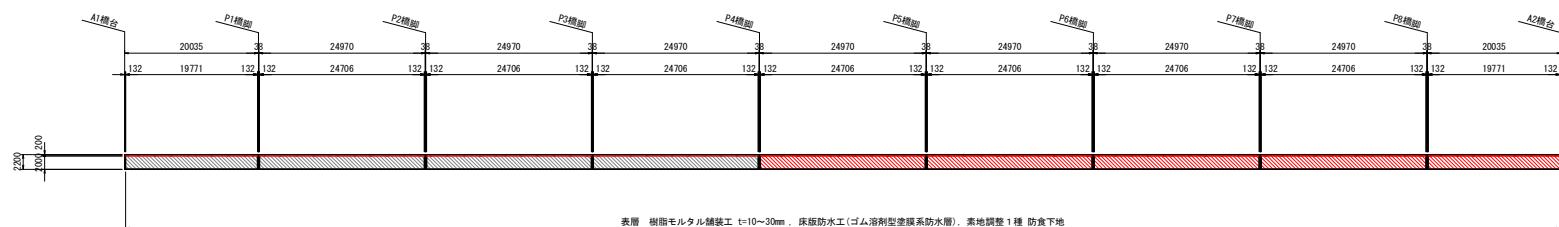
※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者のご協議の上で、はけ、ローラーに変更できる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

工事名	R7馬主 岸門池田線 (曾江谷橋)	
路線名等	(主) 岸門池田線 (曾江谷橋)	
工事箇所	美馬市脇町 沢原	
図面名	下流側側道橋 床版工補修詳細図 (9/9)	
縮 尺	1:20	
図面番号	17 / 21	
会 社 名	徳島県西部総合県民局(美馬)	
事業者名		

下流側側道橋 橋面工補修図 S=1:40

舗装詳細図

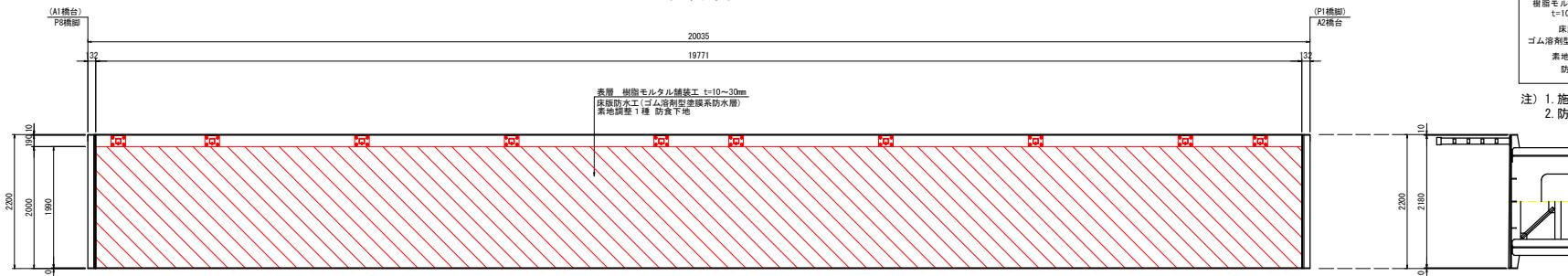
全体平面図 S=1:40



補修凡例

補修の種類	表示
塗膜系防水層 舗装	

平面図



補修数量

補修の種類	径間名	数量
歩道舗装	A1-P1径間	39.3 m^2
表層	P1-P2径間	49.2 m^2
樹脂モルタル舗装工 $t=10\sim30\text{mm}$	P2-P3径間	49.2 m^2
P4-P5径間	P3-P4径間	49.2 m^2
P5-P6径間	P4-P5径間	49.2 m^2
P6-P7径間	P5-P6径間	49.2 m^2
P7-P8径間	P6-P7径間	49.2 m^2
P8-A2径間	P7-P8径間	49.2 m^2
合計	P8-A2径間	39.3 m^2
	合計	423.0 m^2

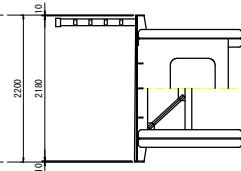
236.1 m^2

- 注) 1. 施工の際は、現地再測定を行い決定すること。
2. 防水層は舗装箇所に設置する。

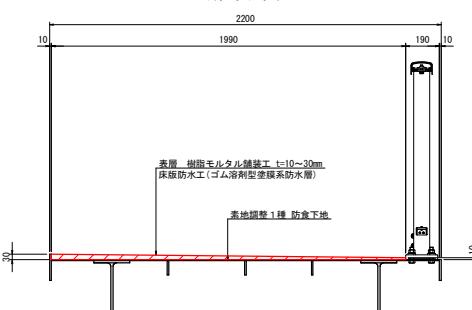
平面図



(P1橋脚)
(P2橋脚)
(P3橋脚)
(P4橋脚)
(P5橋脚)
(P6橋脚)
(P7橋脚)
(P8橋脚)



断面図 S=1:15



舗装構成図 S=1:5



既設部材 塗装規格表 (Rc-塗装系) (スプレー)			
名 称	規 格	使用量 (kg/m^2)	塗装間隔
素地調整	1種 防食下地	600	4時間以内



- ※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更できる。
(はけ、ローラー塗りにした場合は2回塗りとする)
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラスト処理による除錆度は ISO 8501-1 Sa 2 1/2 とする。

実施設計図面

工事名	R7 馬王 品門池田線 (曾江谷橋)	
路線名等	(主) 品門池田線 (曾江谷橋)	
工事箇所	美馬市脇田 拝原	
図面名	下流側側道 橋面工補修図	
縮 尺	図示	図面番号 18 / 21
会 社 名	徳島県西部総合県民局(美馬)	

下流側側道橋防護柵工補修図 (1/2) S=1:200

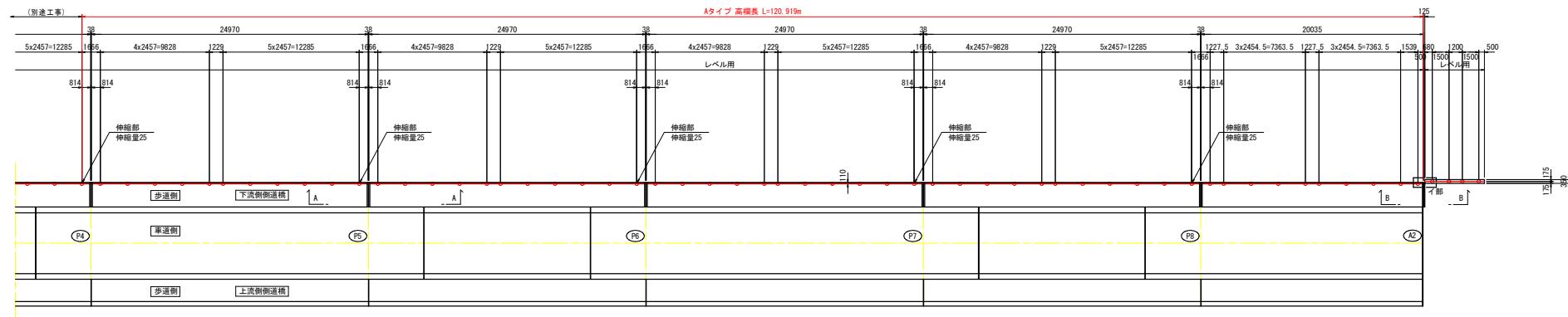
高欄詳細図

平面図 S=1:200

(P4~A2)

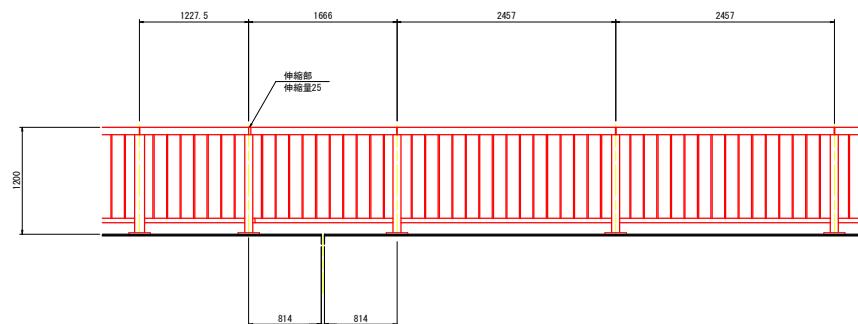
注記 1. 記入寸法はポストセンター押さえとし、実長で示す。
2. 図中 ○、●印はポスト取付位置を示し、
○印はトップレール通し部を、●印は継手部を示す。

Aタイプ高欄総延長 L=215. 164
全てレベル用

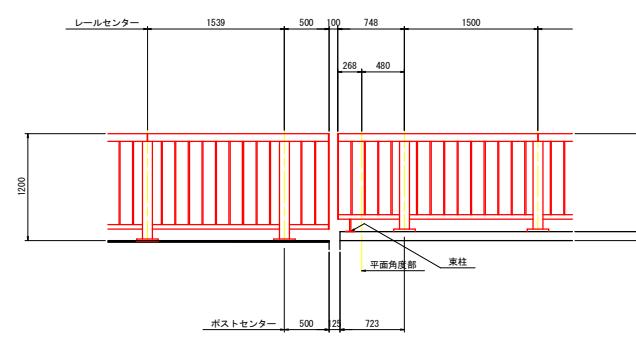


姿 図 S=1:30

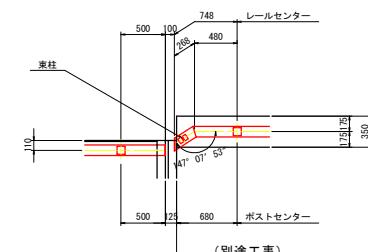
矢視A-



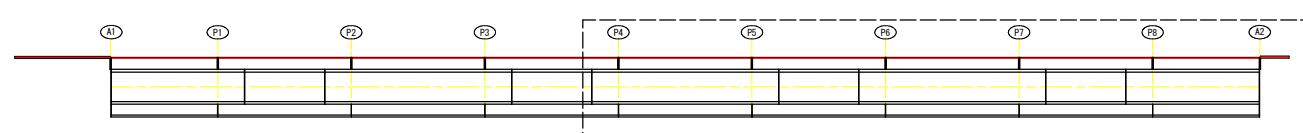
矢視B-|



1部詳細図



配置図 S-1-50



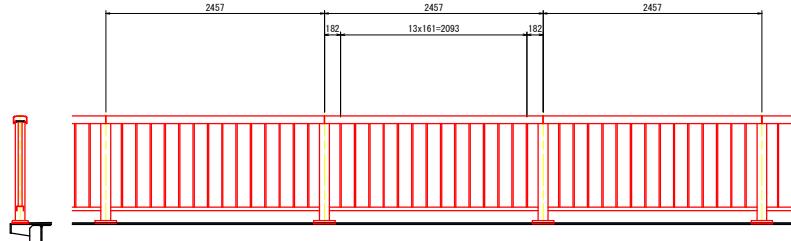
官能學圖面

工事名	JR馬見 喚門池田線（曾江谷橋） 美・昭和原 橋梁修繕工事		
路線名等	（主）JR 喚門池田線（曾江谷橋）		
工事箇所	美馬市臨時拌		
図面名	下流側引退堤 防護堤工補修図(1/2)		
縮尺	国示	図面番号	19 / 21
会社名			
事業者名	徳島県西部総合農民局(美馬)		

下流側側道橋防護柵工補修図 (2/2) S=1:30

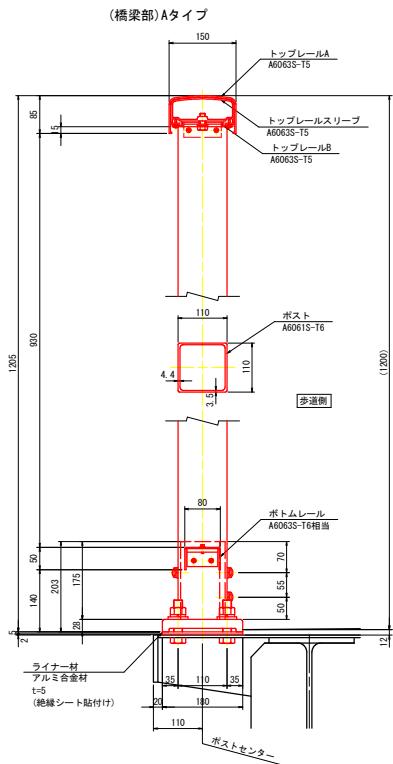
高欄詳細図

姿 図 S=1:30

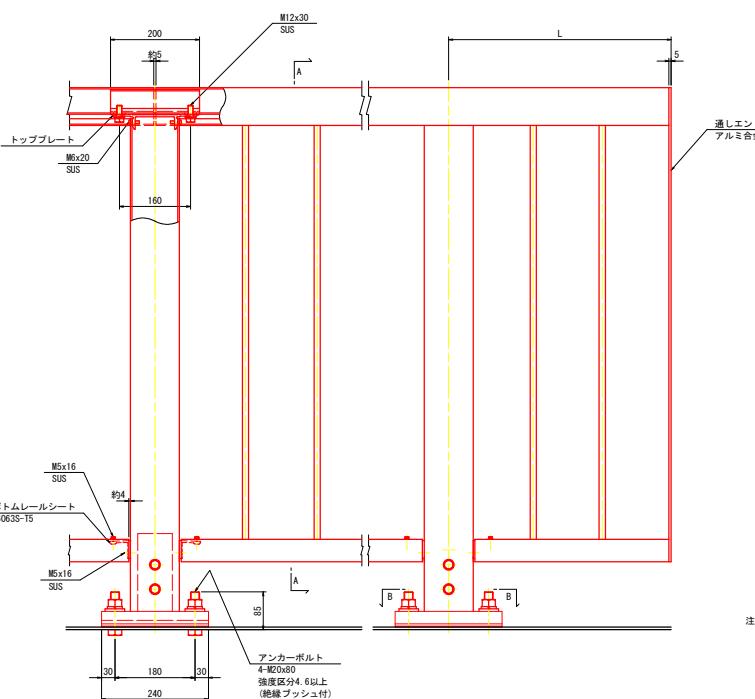


高欄取付詳細図 S=1:6

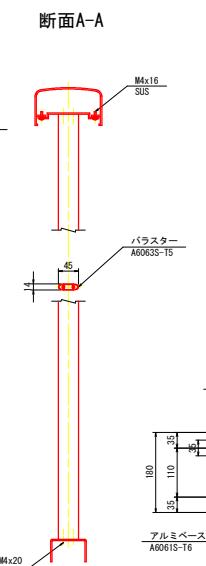
(橋梁部)Aタイプ



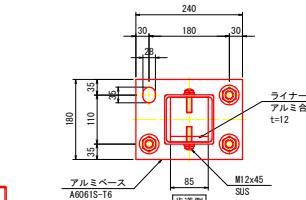
卷之四



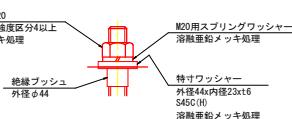
端 命



断面B-B



アンカーナット締め付け部 S=1:3



実施設計図面

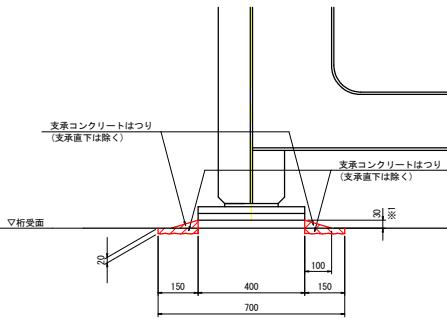
工事名	R7度 喰入池田線 (曾江谷橋) 美・脚踏車 橋梁修繕工事		
路線名等	(主) 喰入池田線 (曾江谷橋)		
工事箇所	美馬市臨時拌原		
面 無	下流側倒道橋 防護柵工修復工(2/2)		
縮 尺	図示	図面番号	20 / 21
会社名			
事業者名	徳島県西部総合振興局(美馬)		

下流側側道橋支承工補修図 S=1:10

(支承モルタル補修)

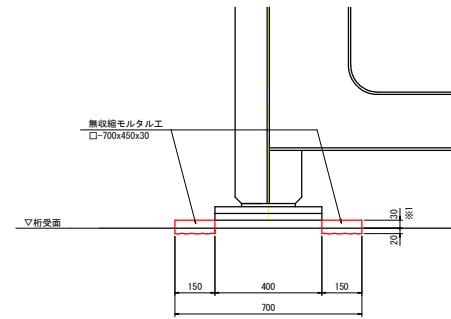
支承モルタル取壊図

断面図



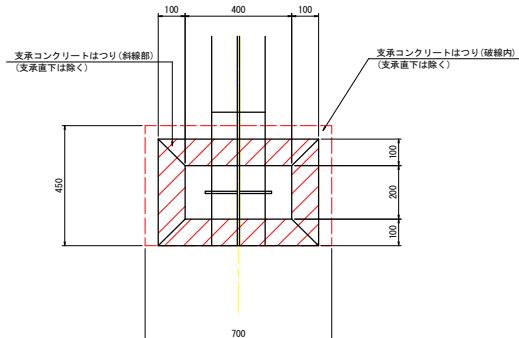
支承モルタル補修図

断面図

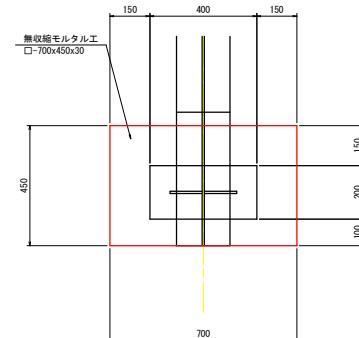


※1. モルタル高さは、既設モルタル高と合わせること

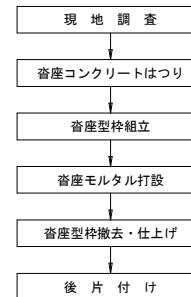
平面図



平面図



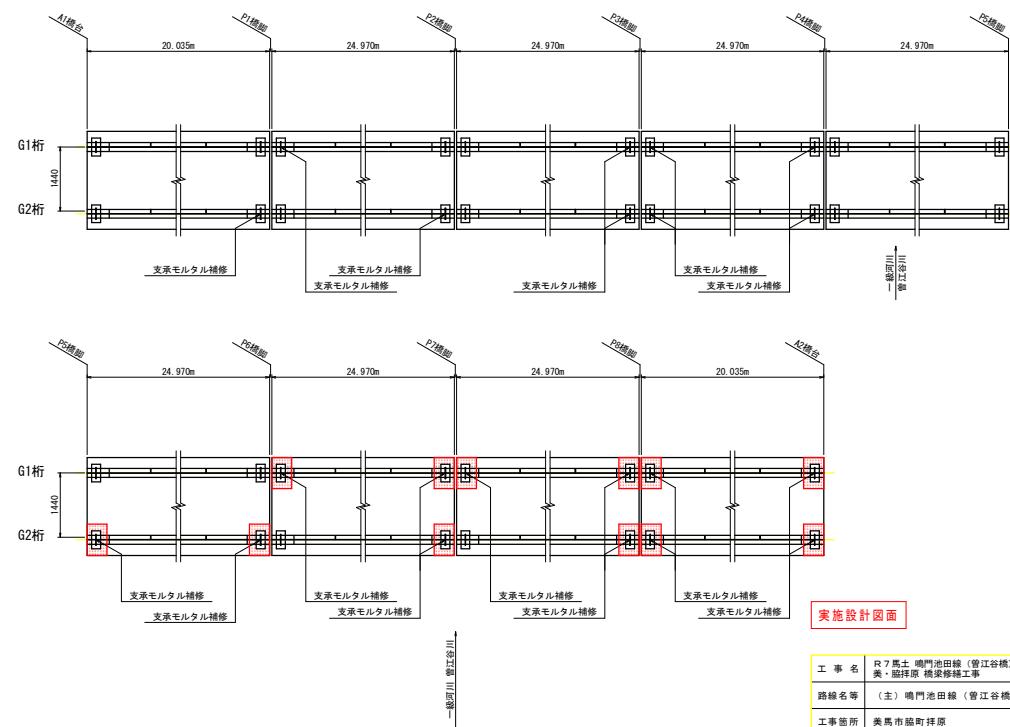
支承モルタル施工フロー



注記)

1. 図中、詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
2. ジャッキアップをしないで施工を実施するため、支承下面の無収縮モルタルは、取壊さない。

位置図 S=1:60

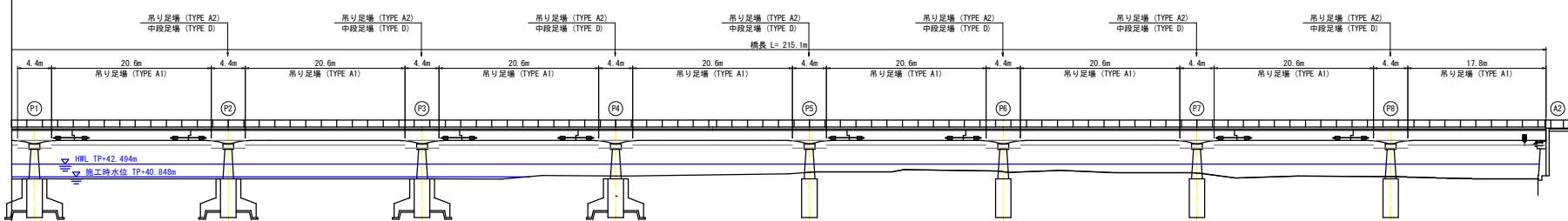


工事名	R7馬士 喰門池田線（晉江谷橋） 美山 脇洋川 桥梁修補工事		
路線名等	（主） 喰門池田線（晉江谷橋）		
工事箇所	美馬市 脇町 拝原		
図面名	下流側倒退橋 支承部修補図		
縮尺	1:50	面番号	21 / 21
会社名			
事業者名	徳島県西部総合農民局（美馬）		

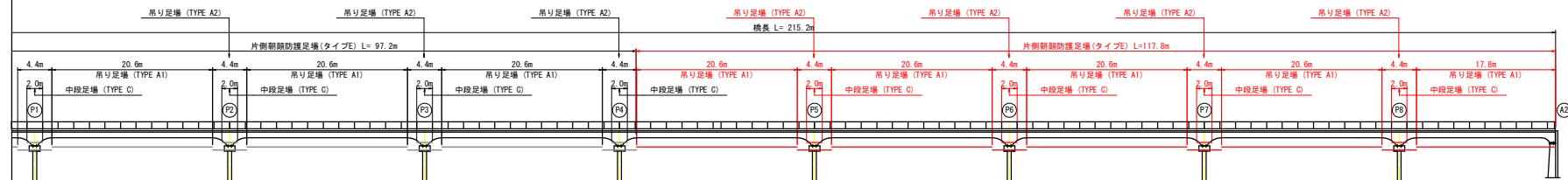
仮設工参考図

上部工仮設

車道橋側面図 S=1:300

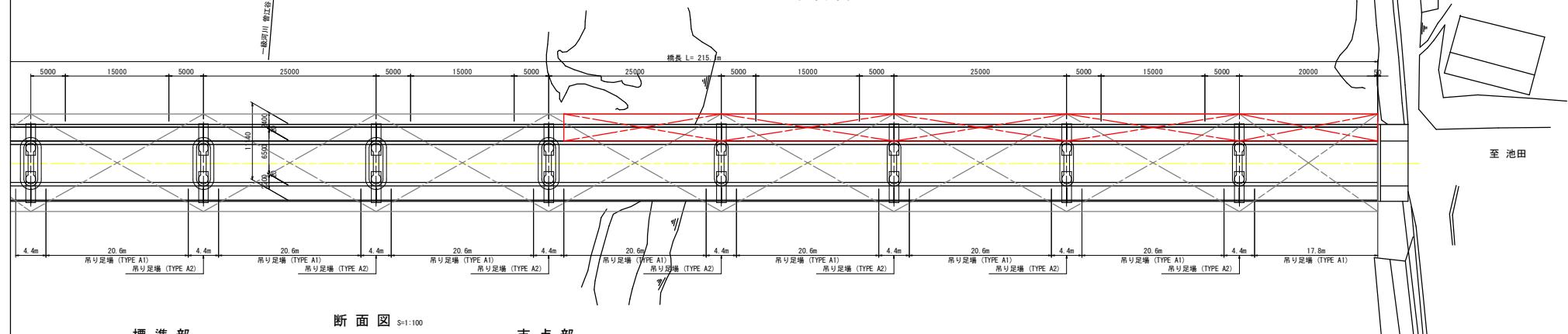


下流歩道橋側面図



上流側歩道橋は、中段足場を設置しない。
吊り足場規格等は、車道橋に準ずる。

平面図 S=1:300



標準部

断面図 S=1:10

支点部

※現地盤は、他工事において橋梁下流側は整地されており、図面とは異なる。

卷 者 圖

注記)

- 注記

 - 吊り足場作業床高は、非出水期水位(11～5月)以上で桁下余裕高を確保した最適作業位置とすること。
 - 足場設置・撤去時に進行規制(一時通行止め等)を行う場合は、工事発注者と協議をすること。
 - 本図面は参考図であるため、適切な仮設計画を立案すること。
 - 本図面は、車道橋および上流側倒道橋と同時施工を想定した仮設計画としているため、施工範囲が異なる場合は工事発注者と協議を行い施工範囲に合わせた仮設設計図に変更すること。
 - 添架物、架空線等の支障物を再確認すること。

工事名	R7馬主 崎門池田線(曾谷橋構 美馬、肱原構架修繕工事)		
路線名等	(主) 崎門池田線(曾谷橋)		
工事箇所	美馬市肱原町拂原		
図面名	仮設工参考図		
縮尺	図示	図面番号	/
会社名			
事業者名	徳島県東西部総合県民局(美馬)		